

令和4年度冬の企画展のお知らせ

倉科光子植物画展 ツナミプランツ — 津波浸水域の植物たち —

2023年 1/21^① → 3/12^②

観覧料 一般：400円／高校生：200円／小中学生：100円



スナビキソウ

ツナミプランツ

自然の恐ろしいほどの力強さ、それはいつでも私たちの想像を^{りようが}凌駕します。

ひとたび自然災害が起これば、人びとの暮らしは深刻な被害とともに一変します。

自然災害に対し私たちはどのように向き合えばよいのか、答えをみちびくのは容易ではありません。

一方で、津波をはじめ、繰り返される自然災害にたくみに適合し、生き残ってきた植物があります。

それが本展のテーマである「ツナミプランツ」です。

アーティスト・倉科光子氏は東北地方沿岸域を丹念に取材し、津波浸水域の植物を描いてきました。

その画に切り取られた景色は、遥かむかしから津波と植物たちによって続けられてきたある種の営みといえるでしょう。

この画家の目と手を通して、「ツナミプランツ」が持つ生命と時間の流れを感じていただければ幸いです。

関連イベント

絵画教室

「透明水彩色鉛筆で植物画を描く」

講師：倉科光子氏

日時：令和5年2月11日^①

〔第1回〕午前9時30分～11時30分

〔第2回〕午後1時30分～3時30分

場所：体験学習室

対象：中学生以上／各回定員：10人

参加費：無料

初級者向けの教室です。水彩紙に下絵を描いたものに36色透明水彩色鉛筆、筆、水を使って色を重ねる楽しさを味わってみましょう。

使い慣れた画材がある方はお持ちください。

※事前に博物館までお申し込みください。

1月22日(日)午前9時から受付を開始します。

ギャラリートーク

それぞれの絵の背景やエピソードについて、倉科氏と、その取材に協力した福島大学の黒沢氏がお話します。

講師：倉科光子氏／黒沢高秀氏（福島大学教授）

日時：令和5年2月12日^②

〔第1回〕午前11時～／〔第2回〕午後2時～
 （各回30分程度）

場所：特別展示室

（申し込み多数の場合は別室での講座になります）

各回定員：15人（要申込）

参加費：無料（展示室入室は観覧券が必要です）

※事前に博物館までお申し込みください。

1月22日(日)午前9時から受付を開始します。

作家プロフィール

倉科光子

青森県三戸町生まれ東京都在住

国立科学博物館植物画コンクール
 筑波実験植物園長賞

カーネギーメロン大学

ハント国際植物画コンクール入選

RHS英王立園芸協会
 Botanical Art and
 Photography Show
 ゴールドメダル、審査員特別賞



ツツイトモ

新資料 深堀り紹介



令和4年度最大ニュース！ 「中生代ジュラ紀の新種植物化石」

令和4年5月、南相馬市博物館にとびきりの知らせがもたらされました。

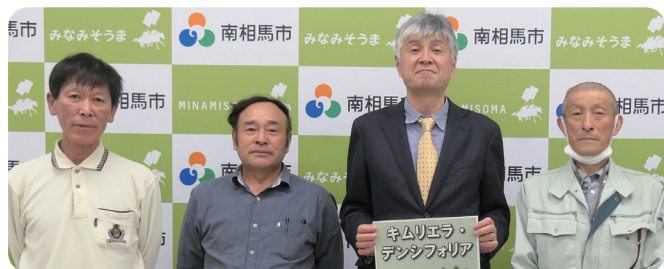
「南相馬市産の新属・新種の植物化石を発表——」

このニュースは一部報道でも取り上げられましたが、当館にて行われた関係者による記者会見をふりかえり、あらためてこの化石のすごさをご紹介します。

新種化石の名は「キムリエラ」 論文の著者が話す、この化石のすごさ！

本市産の化石をもとに日本古生物学会の英文誌『パレオントロジカル・リサーチ Paleontological Research』に論文を発表した茨城県自然博物館主査の滝本秀夫さんは、この化石標本のすごさを次のように説明されました。

「化石が見つかったのは原町区信田沢の栃窪層で、地質年代はジュラ紀、約1億6000万年前の地層ということになります。通常はバラバラでしか見つからない植物化石ですが、恐竜でいえば全身の70～80%が出てきたような素晴らしい化石です。」



▲論文を発表した滝本秀夫さん（中央右）、標本を発掘した相馬中村層群研究会のメンバー（左から、八巻安夫さん、荒好さん、平宗雄さん）

1億6000万年前に生きていた生物が偶然化石となり、1億6000万年後の私たちが偶然発見するという、偶然に偶然が重なった、奇跡的なことです」

世界中のジュラ紀の復元図に影響も

「葉っぱ単体の化石は世界中で見つかり、植物食恐竜が食べていたと考えられています。正確な全体像はこれまで分かっておらず、私たちの研究をもとに世界中で新たな復元図が広まっていくことでしょう。」

南相馬市の栃窪層の植物化石はジュラ紀の世界を解明する、世界に誇るべき植物群です」（滝本氏）

天然記念物級、博物館を研究拠点に

論文に掲載された標本を発掘したメンバーの一人である平宗雄さんは、「この素晴らしい標本を最低でも市指定、欲をいえば県指定天然記念物にしてほしいと思います」と、標本の重要性をうたえました。また、当地が化石の良好な産地であることから、博物館を拠点として地域の化石研究が推進されることを切望されました。



写真提供：滝本秀夫氏

復元画：大花民子氏

▲「キムリエラ・デンシフォリア」（左・当館蔵）と復元画（右）。化石でしか知られていない植物の全体像を復元することは、通常見つかるような標本からではきわめて困難です。

1月～3月

南相馬市博物館の催し物



大人も子どもも楽しめる催し物。小学3年生以下は保護者同伴をお願いします。

※参加申込は受付開始日の午前9時から先着順。
お問い合わせ：南相馬市博物館 0244-23-6421
詳細は博物館ウェブサイトにも掲載しています。

開催日時	タイトル	内 容	受付開始日時
3/4（土） 13:30-15:30	講座 史料をよむ 「南北朝時代の相馬氏⑥」	定員36人 講師：岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授） 内乱期のなか、相馬氏がどのように生き抜いていったか、史料を読み取りながら考えていきます。【持ち物】筆記用具	2/4 9:00～
3/12（日） 10:00-12:00	体験学習 勾玉を作ろう！	定員15人 講師：堀耕平博物館長 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、滑石で作ります。【持ち物】蛍光ペン・鉛筆・タオル	2/12 9:00～

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって中止・変更となる場合があります。 ※一部を除き無料です。

ご利用案内

南相馬市博物館

問い合わせ 〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194

電話：0244-23-6421 FAX：0244-24-6933

E-Mail：hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45（最終入館は16:00まで）

休館日 毎週月曜日および年末年始（12月29日～1月3日）

※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

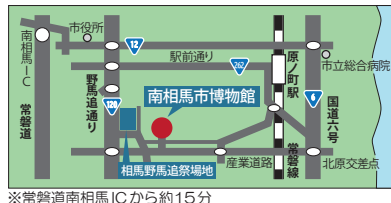
観覧料 一般 300円（250円）高校生 200円（150円）小中学生 100円（80円）

（ ）内は20名以上の団体料金です。※企画展開催中は観覧料が異なる場合があります。

市内および飯館村に居住・通学する小中高生は無料。障がい者の方と付き添いの方1名、

生活保護世帯の方は無料（入館の際に手帳等をご提示ください）。

博物館の催し物の
ページはこちら→



※常磐道南相馬ICから約15分



新型コロナウイルス感染症についてお願い

当日体調に不安がある場合はご来館をご遠慮ください。ご来館の際はマスク着用と他のお客様との距離の確保にご協力をお願いします。混雑時には入場を待機いただく場合があります。